

アセスメントを活用した就労支援の今後のあり方について

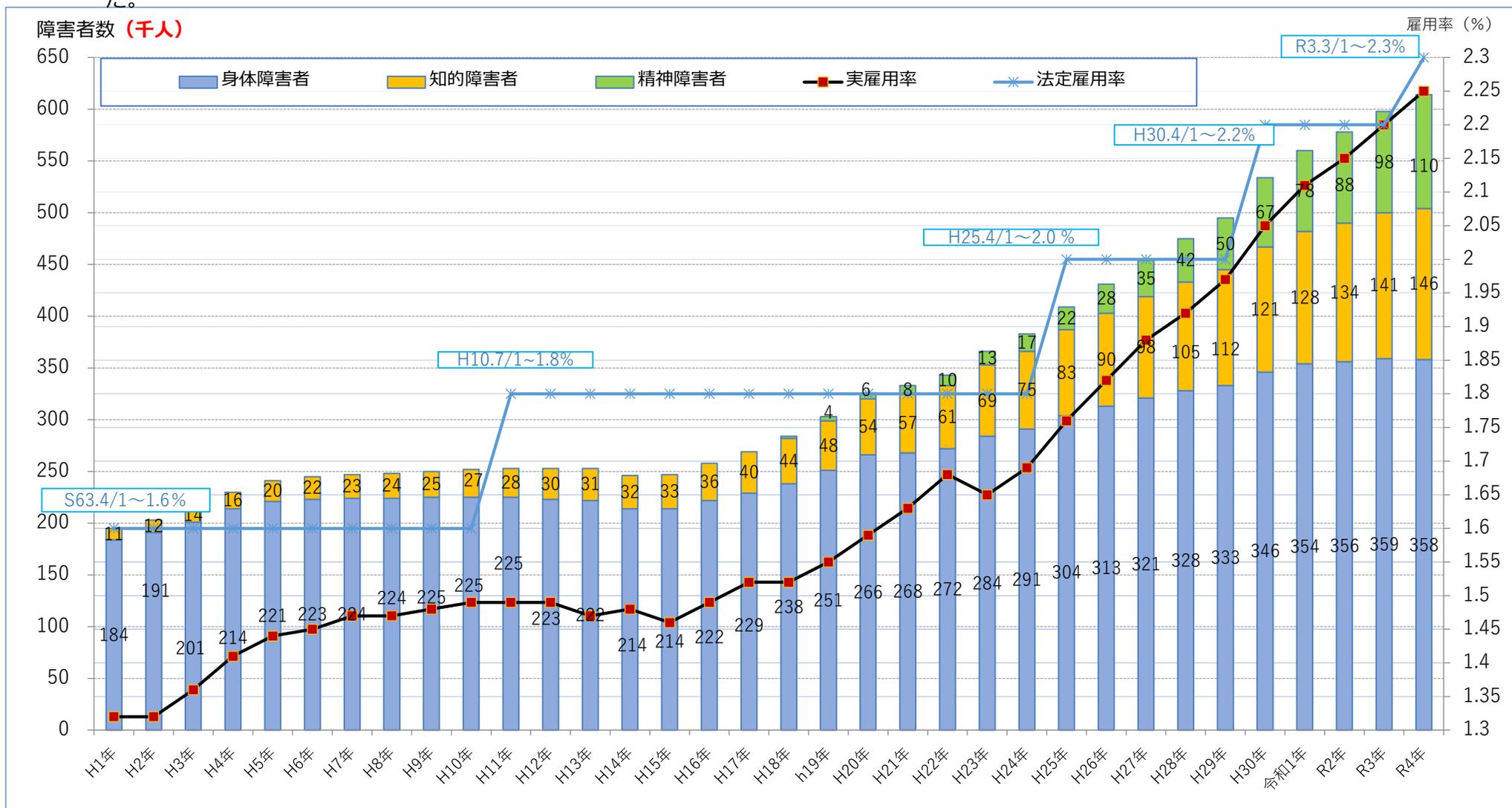
ハローワークにおける就労支援

～より良い自己決定を目指したアセスメントの活用を目指して～

新宿公共職業安定所
専門援助第二部門
統括職業指導官
吉田 あおき

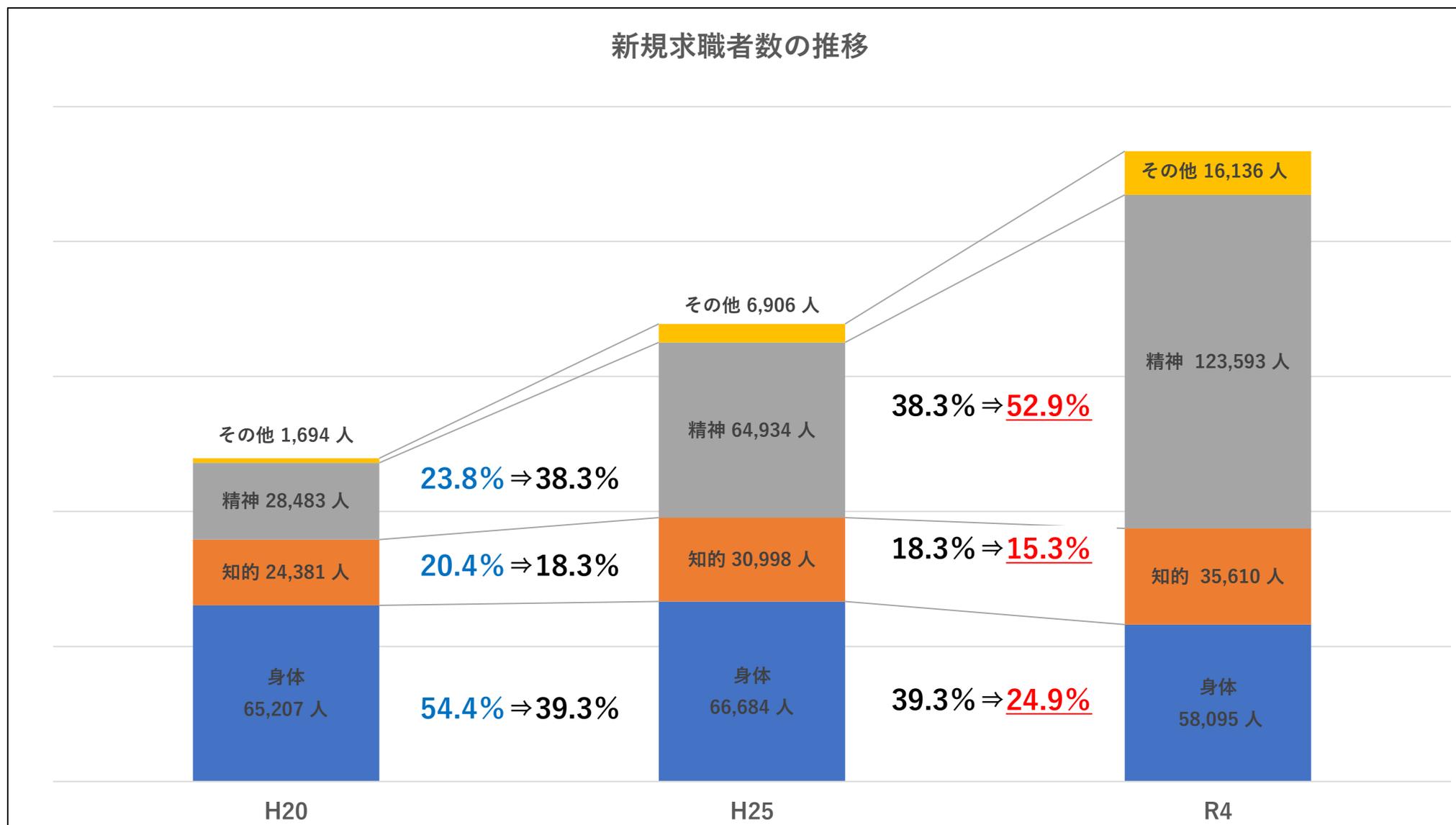
障害者雇用状況（企業における雇用状況）

民間企業（43.5人以上規模）の障害者雇用状況（全国、令和4年6月1日現在）雇用者数は61万3,958人、実雇用率2.25%であった。



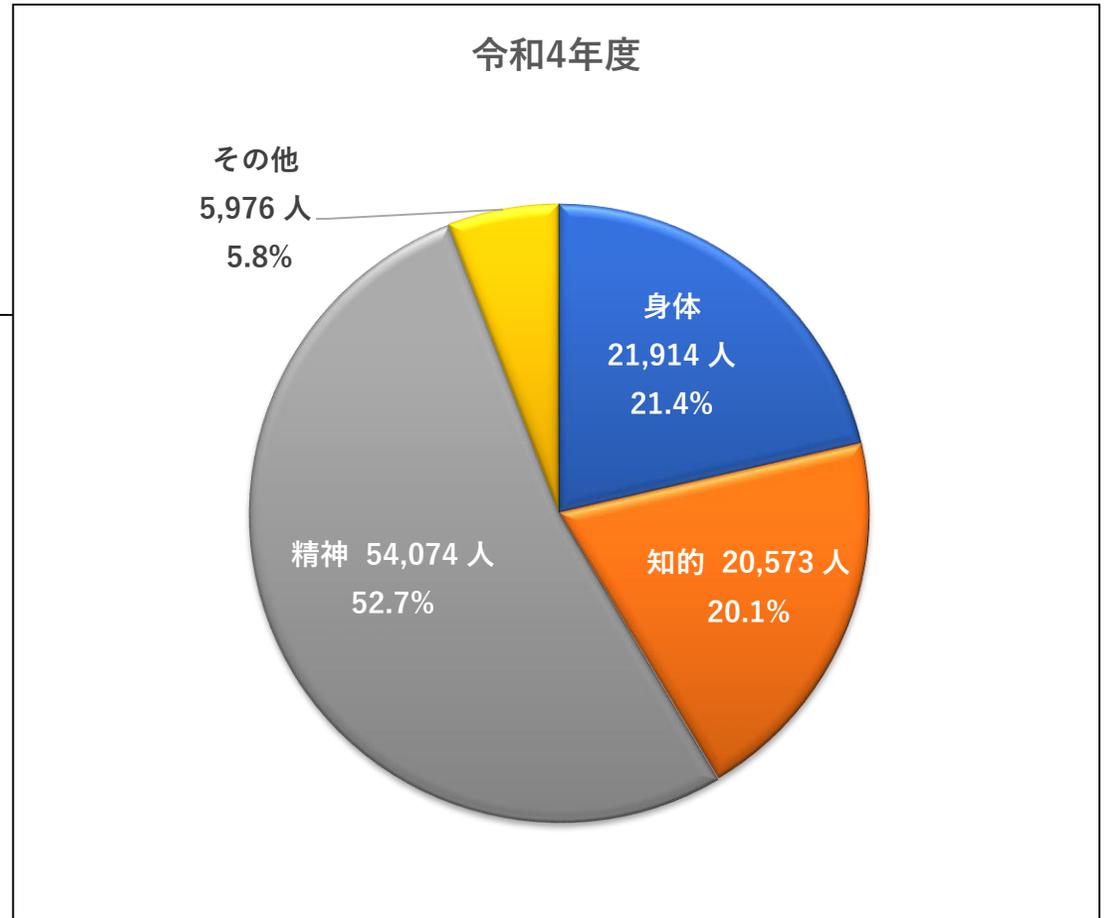
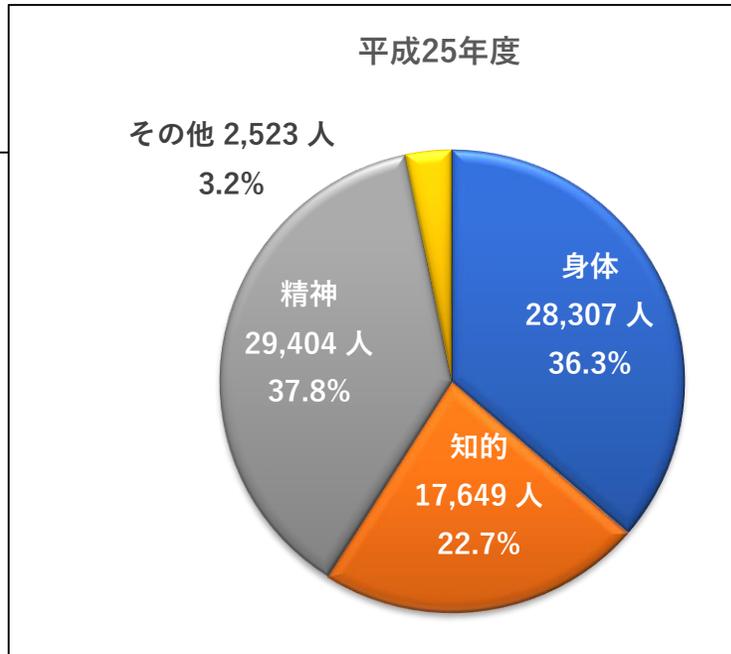
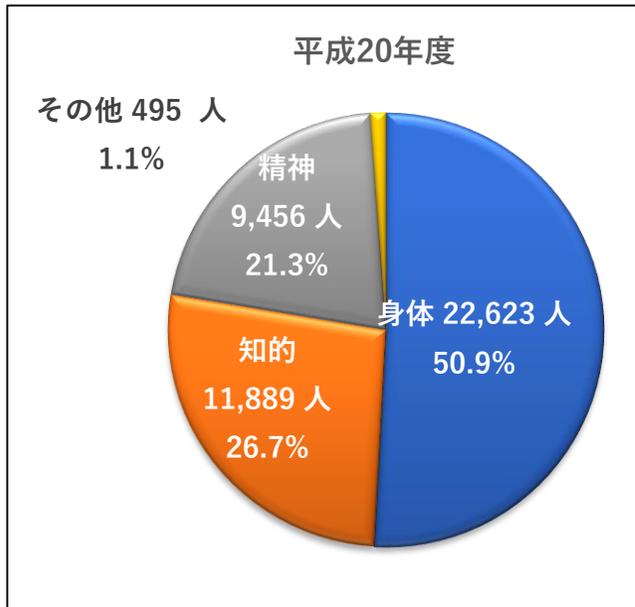
【注：厚生労働省 障害者雇用状況の集計結果より作成】

ハローワークにおける求職者の動向（新規登録者数）



【注：厚生労働省 障害者職業紹介状況等より作成】

ハローワークにおける求職者の動向（就職者数）



【注：厚生労働省 障害者職業紹介状況等より作成】

支援者の声、企業担当者の声

支援者

多岐に渡る特性やバックボーンをお持ちの利用者が増え、支援が難しい方が増えている...

医療面が心配
通院同行が必要...

利用者が増加しマンパワーが足りない...

まずは生活リズムと疾病管理を整える必要が...

もう少し企業のナチュラルサポートが必要...

超短時間就労の希望者の就労準備性は!?

企業

健康面やコミュニケーション面をどうやって知るの？

どんな面接をしたら良いの？

どんな障害特性があるの？

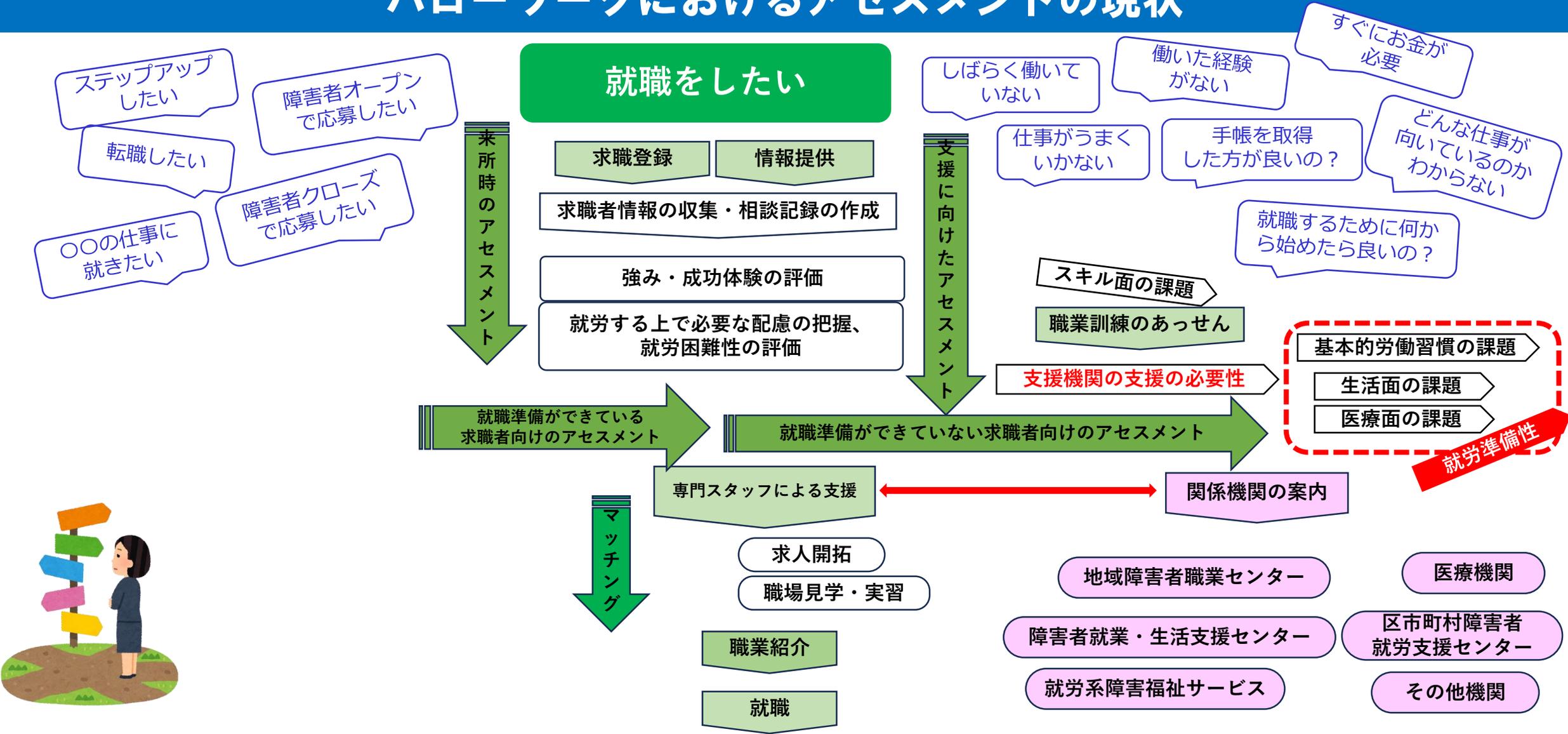
勤怠の安定性や業務の遂行能力をどう見極めたら良いの？

具体的にどのような配慮をしたら良いの？

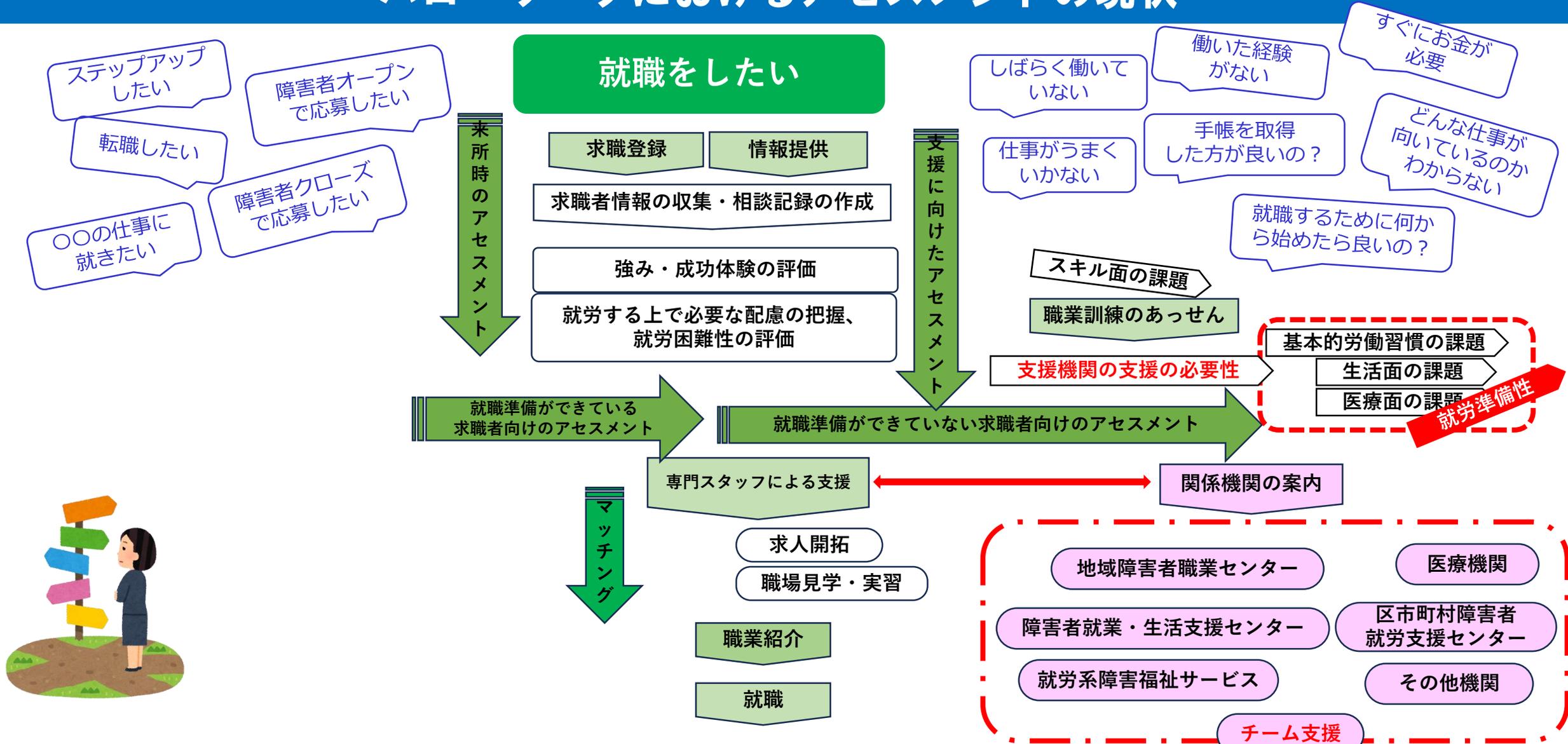
ミスマッチが不安...

支援してくれる人はいるの？ずっと支援してくれるの？

ハローワークにおけるアセスメントの現状



ハローワークにおけるアセスメントの現状



ハローワークを中心とした「障害者向けチーム支援」

連携機関

- 就労移行支援事業所
 - 就労継続支援事業所
 - 地域活動支援センター
 - 地域障害者職業センター
 - 障害者就業・生活支援センター
 - 障害者職業能力開発校
 - 発達障害者支援センター
 - 難病・相談支援センター
 - 社会福祉協議会 等
- ※ 下記施設と連携

障害者就労支援チーム

主査

ハローワーク

・専門援助部門が担当
・専門スタッフ
を配置し、関係機関と調整



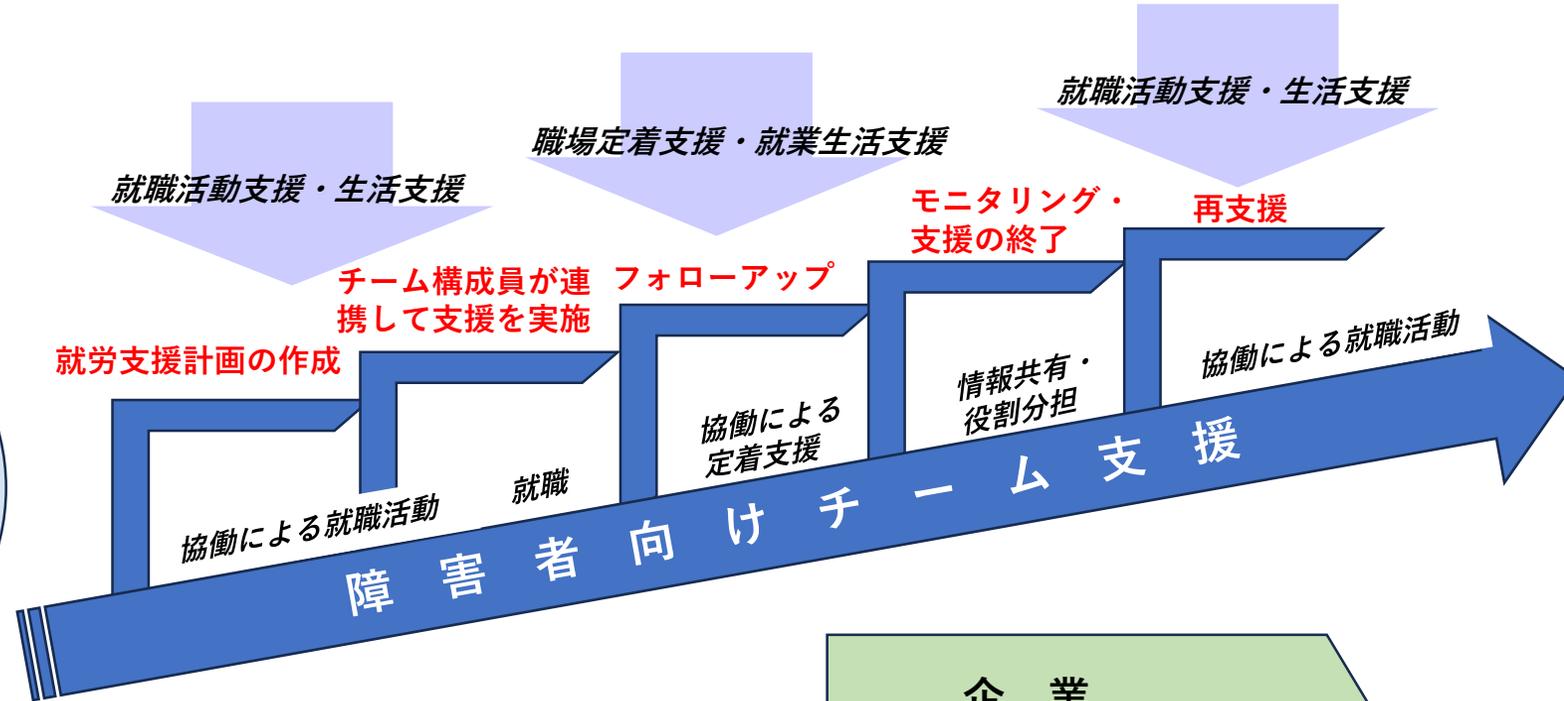
福祉施設等

- 障害者福祉施設
- 医療、保健福祉機関
- 特別支援学校
- その他、就労支援、生活支援を行う施設等

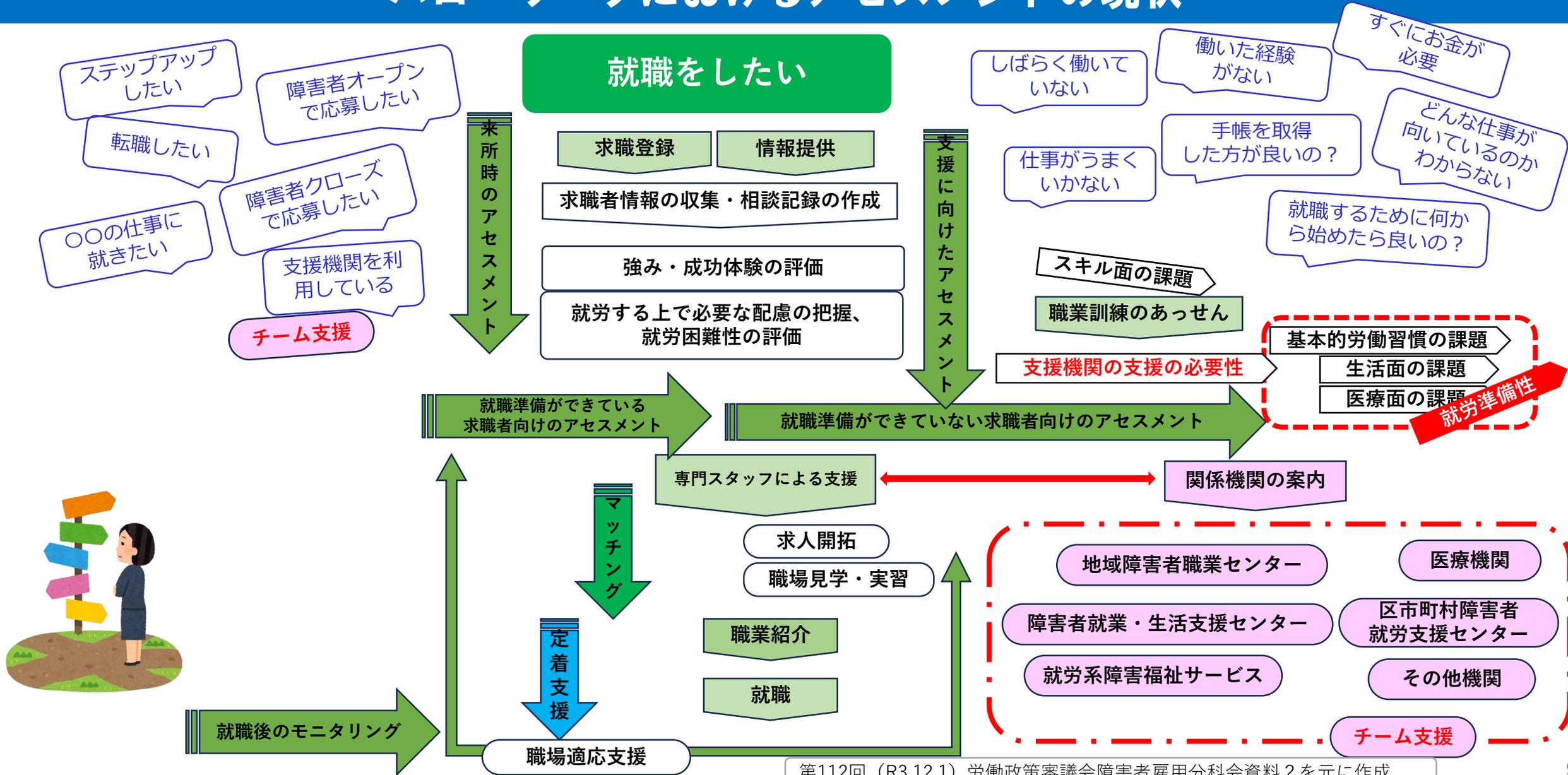


就職を希望している福祉施設等利用者

障害者就労支援チームによる就職に向けた取り組み



ハローワークにおけるアセスメントの現状



事例 ～チーム支援～

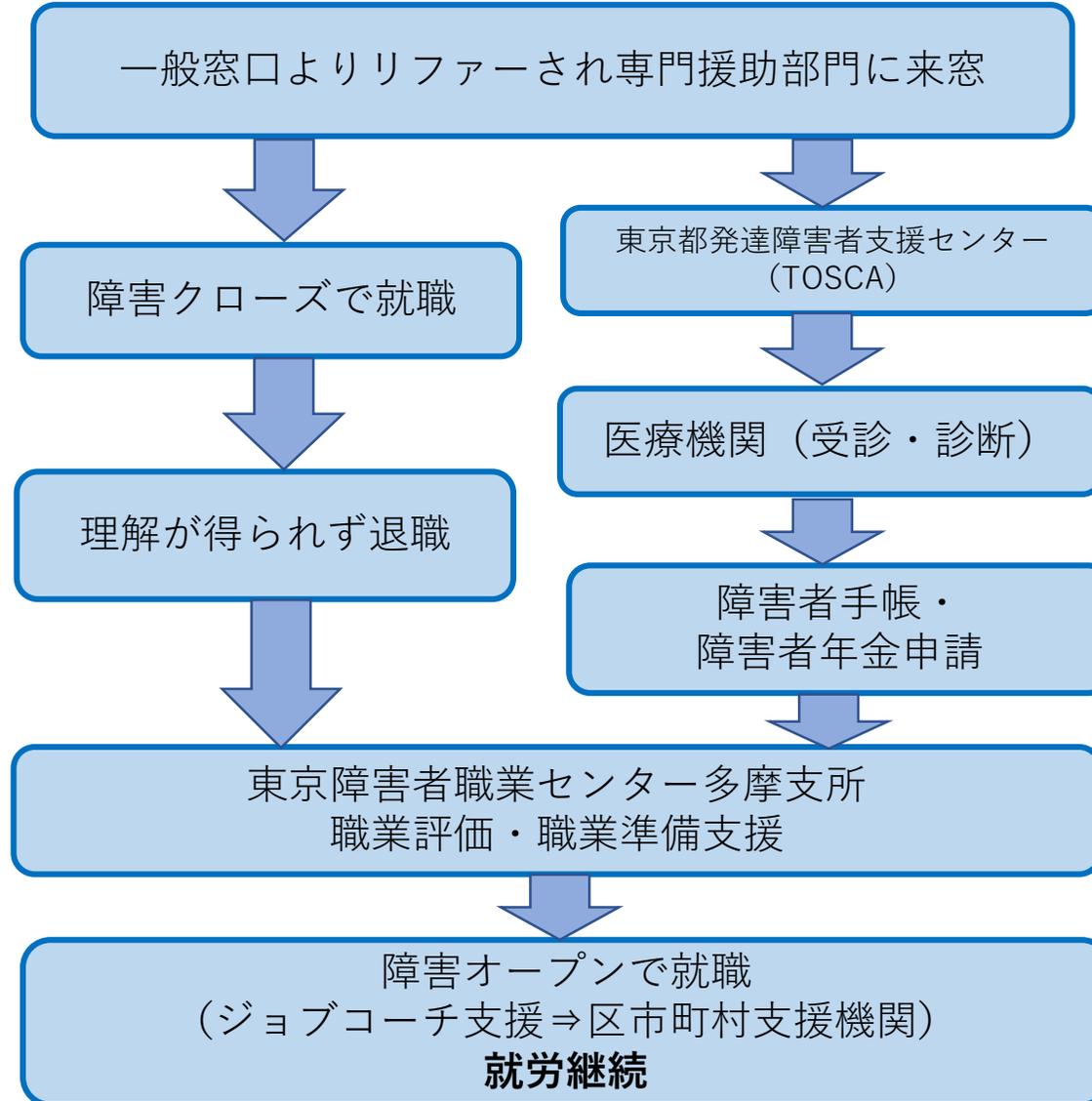
【基本情報】

- ・ 診断：適応障害
- ・ 手帳：未取得
- ・ 仕事がうまくいかない
- ・ 発達障害かもしれない…
- ・ 一人暮らし

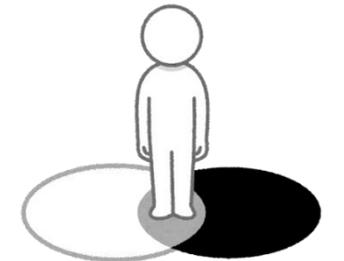


課題

- ・ どんな仕事に向いているかわからない
- ・ 生活面（金銭）に困窮
- ・ 親の理解がなく自活しなければならない



- ・ 努力しても無理な事がある…
- ・ 自分の得意と苦手を知りたい。
- ・ 自分の特性を理解してもらえるところで働きたい…



ご清聴ありがとうございました。